

# YAMAHA

## GUITAR AMPLIFIER

# AR-1500/AR-2500 AR-1500R AR-1500L



### 取扱説明書

このたびは、ヤマハギターアンプをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
ヤマハギターアンプの優れた性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

#### ご使用上の注意

- ◆ 電源のON/OFFやプラグの着脱は、アンプのMASTER VOLUMEを0にしてから行なってください。  
また、ギターを接続する場合は、必ずギター側を先に接続し、次にアンプ側を接続してください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えないでください。  
また、使用中の移動は避けてください。
- ◆ 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは、十分に離してご使用ください。
- ◆ 外装のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用になってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどは、絶対にご使用にならないでください。

# 安全へのこころがけ

|   |                                     |   |
|---|-------------------------------------|---|
|                    | <b>注意</b><br>感電の恐れあり<br>キャビネットをあげるな |  |
| <p>注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。<br/>この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。<br/>修理は、サービスセンターに依頼してください。</p> |                                     |   |







このラベルは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを示しています。(本体に貼付されています。)

## 火災・感電・人身傷害の危険を防止するには

～以下の指示を必ず守ってください～

### 絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。

|   |                                 |  |
|---|---------------------------------|--|
|  | 注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 | 例：  → 感電注意            |
|  | 禁止の行為を告げるものです。                  | 例：  → 分解禁止            |
|  | 行為を強制したり指示する内容があることを告げるものです。    | 例：  → 電源プラグをコンセントから抜く |



### 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。



修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、**絶対**にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。



次のような場所での使用や保存はしないでください。火災、感電の原因となります。

- 湿度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)
- 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



## 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡  
又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。100V以外では火災、感電の原因となります。



電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつか  
ます。火災、感電の原因となります。



この機器を単独で、あるいはヘッドフォン、外部アンプ、外部スピーカーと組み合わせて使用した  
場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程の音量で、  
長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してくだ  
さい。



この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対に入れない  
てください。火災、感電の原因となります。



次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードなどを取り外し、サービスセンターに修理を依  
頼してください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 機器が(雨などで)濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。又、過度に積重ねての使  
用はしないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



落雷の恐れのある場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、  
財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



この機器は、正常な通気が妨げられることのない所に設定して、使用してください。



電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

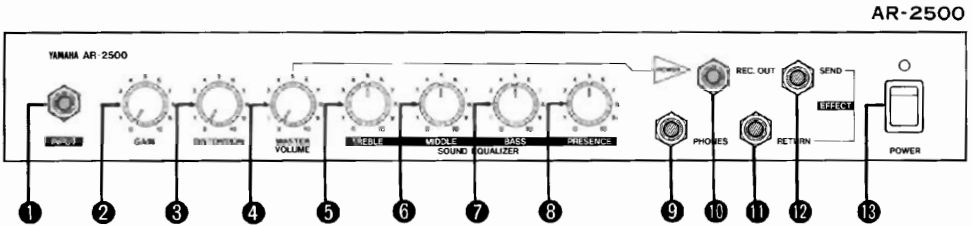


お手入れの際は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

## GUITAR AMPLIFIER

# AR-1500/AR-2500

### コントロールパネル



#### ①INPUT

ギターを接続する端子です。

#### ②GAIN

ディストーションのレベル(かかり具合)をコントロールします。

右へ回すほどディストーションが深くかかります。クリーンなサウンドが欲しい場合は、目盛り位置1~2くらいにおさえて設定します。(DISTORTIONツマミは0)

※GAINツマミ0では音は出ません。

#### ③DISTORTION

ディストーションのキャラクターをコントロールします。

右へ回すほど、鋭い感じのディストーションサウンドになり、ロングサステーンが得られます。逆にツマミを左へ絞るほど、太く芯のあるディストーションサウンドになります。

#### ④MASTER VOLUME

ディストーションやトーンのキャラクターをほとんど変えずに、トータルの音量をコントロールします。

#### SOUND EQUALIZER

#### ⑤TREBLE

高域をコントロールします。

#### ⑥MIDDLE

中域をコントロールします。

#### ⑦BASS

低域をコントロールします。

#### ⑧PRESENCE

TREBLEよりもさらに高い超高域をコントロールします。

※4つのツマミすべてが0の位置では、音は出ません。

#### ⑨PHONES

ヘッドホンを接続する端子です。

#### ⑩REC. OUT

レコーディング用の出力端子です。レコーディングミキサーや、MTRへ接続します。(ポストパワーアンプ出力) (→9ページ)

#### ⑪EFFECT RETURN

#### ⑫EFFECT SEND

エフェクターを使用する場合は、このSEND / RETURNジャック間につながります。

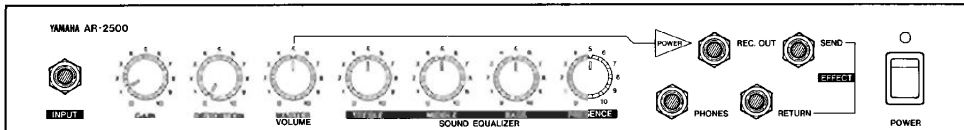
SEND端子はラインアウト端子として、RETURN端子はAUX MIX端子として使用することもできます。(→9ページ)

#### ⑬POWER

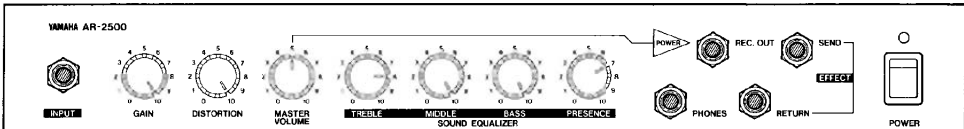
電源スイッチです。

# セッティングサンプル

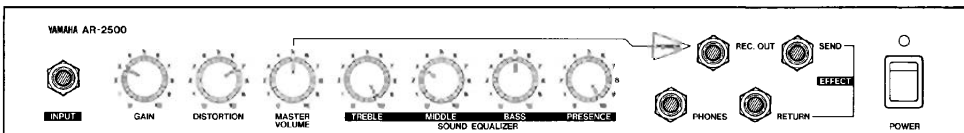
## ●クリーンなカッティングサウンド



## ●ハードロック(バックিং及びソロ)



## ●ハードロックンロール



# SPECIFICATIONS

|                      | AR-1500  | AR-2500     |
|----------------------|--|-------------|
| 定格出力<br>(T.H.D. 10%) | 15Wr.m.s.  | 25Wr.m.s.   |
| スピーカー                | 20cm(4Ω)   | 25cm(8Ω)    |
| コントロール               | GAIN, DISTORTION, MASTER VOLUME,<br>TREBLE, MIDDLE, BASS, PRESENCE |             |
| INPUT                | INPUT, EFFECT RETURN   |             |
| OUTPUT               | REC OUT, PHONES,<br>EFFECT SEND                                    |             |
| 電源                   | AC100V, 50/60Hz  |             |
| 消費電力*                | 25W  | 20W         |
| 寸法 (W×H×D)           | 396×340×208  | 456×390×242 |
| 重量                   | 7.7kg  | 10.2kg      |

\*消費電力は、電気用品取締法の測定方法による。

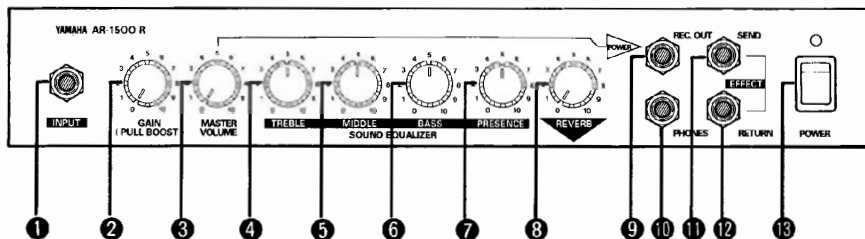
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

この製品は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

# GUITAR AMPLIFIER

# AR-1500R

## コントロールパネル



### ① INPUT

ギターを接続する端子です。

### ② GAIN

ディストーションのレベル(かかり具合)をコントロールします。

右へ回すほどディストーションが深くかかります。クリーンなサウンドが欲しい場合は、(使用するエレキギターのピックアップの出力にもよりますが) 目盛り位置5くらいまでにおさえて設定します。

ディストーションが物足りない場合は、つまみを手前に引くと中域がブーストされ、つまみ位置1~3くらいでもディストーションがかかり、つまみを右へ回すほどよりハードなディストーションサウンドを得ることができます。

### ③ MASTER VOLUME

ディストーションやトーンのキャラクターをほとんど変えずに、トータルの音量をコントロールします。

### SOUND EQUALIZER

#### ④ TREBLE

高域をコントロールします。

#### ⑤ MIDDLE

中域をコントロールします。

#### ⑥ BASS

低域をコントロールします。

### ⑦ PRESENCE

TREBLEよりもさらに高い超高域をコントロールします。

※ 4つのつまみすべてが0の位置では、音は出ません。

### ⑧ REVERB

リバーブのかかり具合をコントロールします。つまみを右へ回すほどリバーブが深くかかります。つまみ位置0では、効果はかかりません。

### ⑨ PHONES

ヘッドホンを接続する端子です。

### ⑩ REC. OUT

レコーディング用の出力端子です。レコーディングミキサーや、MTRへ接続します。(ボストパワーアップ出力) (→9ページ)

### ⑪ EFFECT RETURN

### ⑫ EFFECT SEND

エフェクターを使用する場合は、このSEND / RETURNジャック間につなぎます。

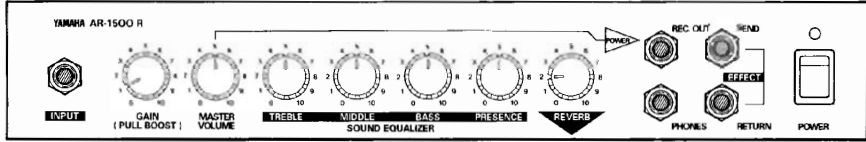
SEND端子はラインアウト端子として、RETURN端子はAUX MIX端子として使用することもできます。(→9ページ)

### ⑬ POWER

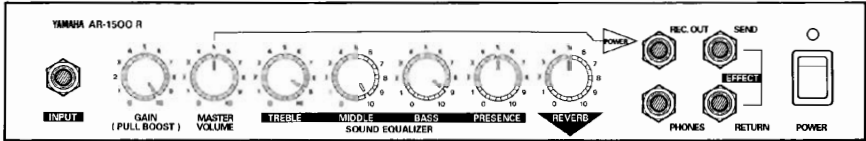
電源スイッチです。

# セッティングサンプル

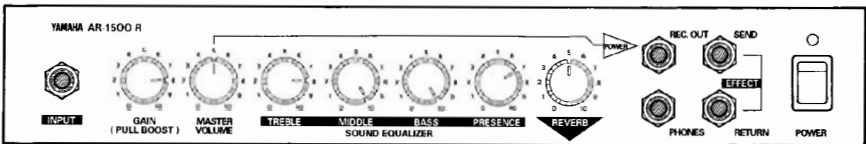
## ●クリーンなカッティングサウンド



## ●ナチュラルなオーバードライブサウンド



## ●ハードディストーションサウンド (GAINツマミ→PULLノ)



# SPECIFICATIONS

|                      |   |
|----------------------|---|
| 定格出力<br>(T.H.D. 10%) | 15Wr.m.s.   |
| スピーカー                | 20cm (4Ω)   |
| コントロール               | GAIN (PULL BOOST), MASTER VOLUME,<br>TREBLE, MIDDLE, BASS, PRESENCE, REVERB |
| INPUT                | INPUT, EFFECT RETURN  |
| OUTPUT               | REC OUT, PHONES, EFFECT SEND  |
| 電源                   | AC100V, 50/60Hz   |
| 消費電力*                | 25W   |
| 寸法 (W×H×D)           | 396×340×208mm   |
| 重量                   | 8.2kg   |

\*消費電力は、電気用品取締法の測定方法による。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

この製品は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

# GUITAR AMPLIFIER

# AR-1500L

## コントロールパネル

本アンプには、クリーンとドライブの2つのチャンネルがあります。


クリーンチャンネルは、歪のないブライツなサウンドが得られますので、エレクトリックアコースティックギターやノンディストーションのカッティング時などに最適です。

ドライブチャンネルは、2ボリュームでさまざまなディストーションサウンドを得ることができます。

チャンネルの切り換えは、VOLUME(PULL SHIFT)つまみまたはF.S.W.端子に接続したフットスイッチで行ないます。

クリーンチャンネル用ボリュームです。チャンネル切替スイッチを兼ねています。つまみを引っぱると、ドライブチャンネルになります。

・クリーンチャンネル    ・ドライブチャンネル

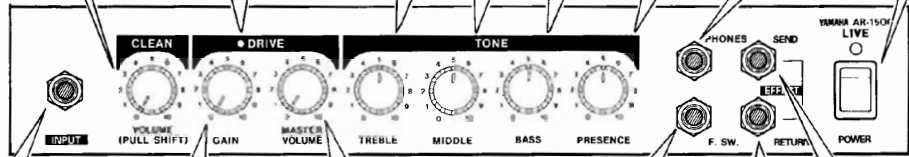


音色を調整するためのつまみです。クリーン/ドライブどちらのチャンネルでも働きます。  
※4つのつまみがすべて“0”の状態では音は出ません。

|                           |                           |                           |   |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---|
| 高域を<br>コント<br>ロール<br>します。 | 中域を<br>コント<br>ロール<br>します。 | 低域を<br>コント<br>ロール<br>します。 | TREBLE<br>よりさらに<br>高い超<br>高域<br>をコント<br>ロール<br>します。 |
| 高域を<br>コントロール<br>します。     | 中域を<br>コントロール<br>します。     | 低域を<br>コントロール<br>します。     | TREBLE<br>よりさらに<br>高い超<br>高域<br>をコント<br>ロール<br>します。 |

電源スイッチです。ONにすると、スイッチ上のインジケータが点灯します。

ヘッドホンを接続する端子です。



ギターを接続する端子です。

ドライブチャンネル用のコントロールです。GAINつまみでディストーションのかけ具合を調整し、MASTER VOLUMEつまみで音量を調整します。GAINつまみは右へ回すほどディストーションが深くかかります。

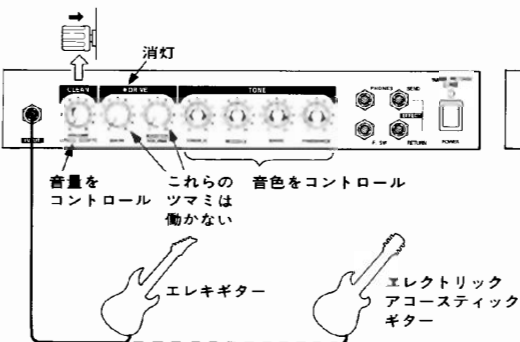
この端子に別売のヤマハフットペダルFS-1を接続すると、クリーン/ドライブのチャンネル切替を足元で行なうことができます。  
※フットスイッチ接続中は、VOLUMEつまみでの切替はできません。

エフェクターを使用する場合は、この端子間に接続します。SEND端子はラインアウト端子として、RETURN端子はAUX MIX端子として使用することもできます。(→9ページ)

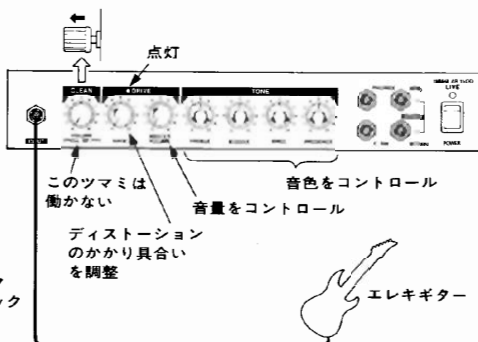


# クリーンチャンネルとドライブチャンネル

## ●クリーンチャンネル



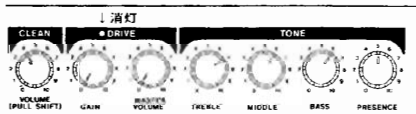
## ●ドライブチャンネル



## セッティングサンプル

### ■クリーンチャンネル

#### ●クリーンなカッティングサウンド

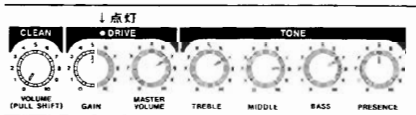


#### ●エレクティックアコースティックギター向き

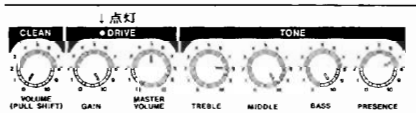


### ■ドライブチャンネル

#### ●ナチュラルなオーバードライブサウンド



#### ●ハードディストーションサウンド



## 仕様

|        |  |
|--------|--|
| 定格出力   | 15Wr.m.s.(T.H.D. 10%)  |
| スピーカー  | 20cm(4Ω)   |
| チャンネル  | CLEAN/DRIVE(VOLUME<br>ツマミまたはフットスイッチにて<br>切換)                                     |
| コントロール | VOLUME(PULL SHIFT),<br>GAIN, MASTER VOLUME,<br>TREBLE, MIDDLE, BASS,<br>PRESENCE |
| 入出力端子  | INPUT, EFFECT SEND,<br>EFFECT RETURN, PHONES,<br>F.S.W.                          |
| 電源     | AC100V, 50/60Hz  |
| 消費電力*  | 25W  |
| 寸法     | 396(W)×340(H)×208(D)mm   |
| 重量     | 8.2kg  |

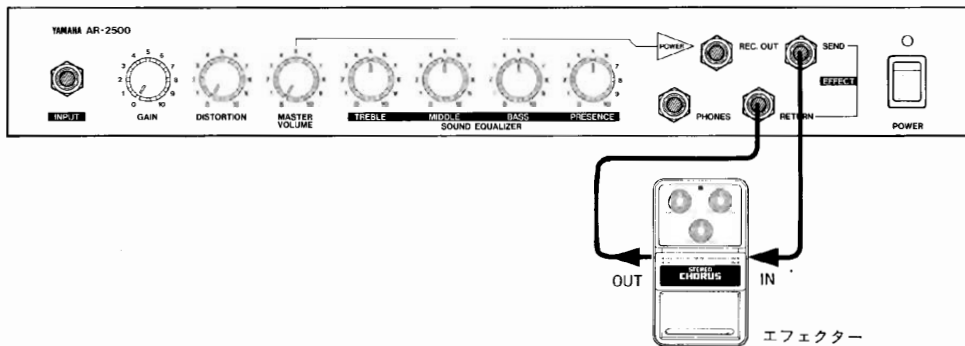
\*消費電力は、電気用品取締法の測定方法による。  
\*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

この製品は電気用品取締法に定める  
技術基準に適合しています。

# EFFECT SEND/RETURN, REC OUTジャックの使い方

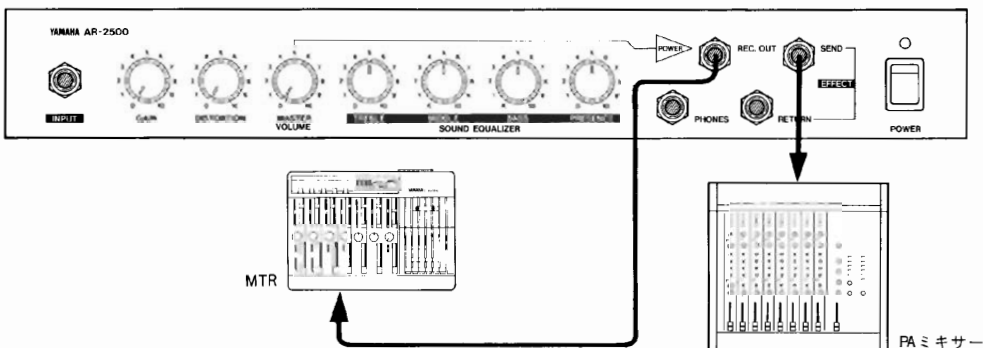
## ●エフェクターを使用する場合(エフェクトループとしての使用)

エフェクターを使用する場合は、このようにして接続してください。

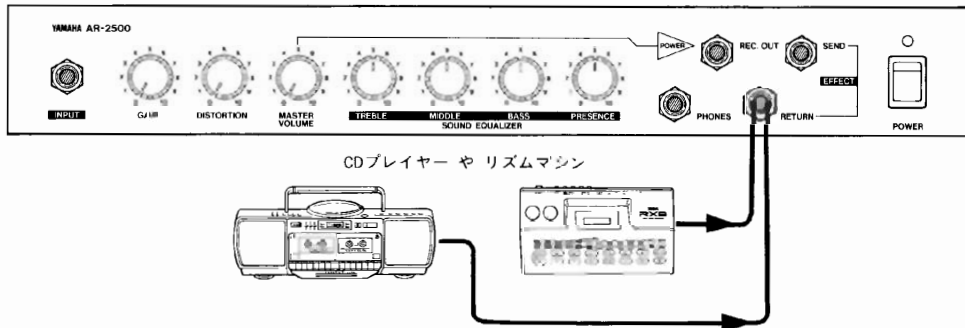


## ●ラインアウトとしての使用

PA ミキサーやビッグアンプに接続して使う場合は、EFFECT SENDジャック出力を、MTRなどに接続して録音する場合はREC OUTジャック出力を使います。



## ●CDやリズムマシンのサウンドに合わせてプレイする場合。(ミキシングプレイ)



※リズムマシン等の音量は、アンプ側では調整できません。

ギターとの音量バランスは、リズムマシン等の側で調整してください。

# サービスについて

## 1.保証期間

本機の保証期間は、ご購入(保証書による)より満1ヶ年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は日本国内でのみ有効)と致します。

## 2.保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。

また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは下記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

## 3.アフターサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは下記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

## 4.磨耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する磨耗部品(下記参照)が使用されています。磨耗部品の劣化の進行度合いは、使用環境や使用時間などによって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用頂くためには、定期的な磨耗部品の交換されることをお勧めします。磨耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点へご相談ください。

### 磨耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ、リレー類、入出力ジャック接続端子など

## ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

### (修理受付および修理品お持ち込み窓口)

|                             |         |                                    |                    |
|-----------------------------|---------|------------------------------------|--------------------|
| 北海道サービスセンター                 | 〒064    | 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内         | TEL (011) 513-5036 |
| 仙台サービスセンター                  | 〒983    | 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F         | TEL (022) 236-0249 |
| 首都圏サービスセンター                 | 〒211    | 川崎市中原区木月1184                       | TEL (044) 434-3100 |
| 東京サービスステーション<br>(お持ち込み修理窓口) | 〒108    | 東京都港区高輪2-17-11                     | TEL (03) 5488-6625 |
| 浜松サービスセンター                  | 〒435    | 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内              | TEL (053) 465-6711 |
| 名古屋サービスセンター                 | 〒454    | 名古屋市中区川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F | TEL (052) 652-2230 |
| 大阪サービスセンター                  | 〒565    | 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内         | TEL (06) 877-5262  |
| 四国サービスステーション                | 〒760    | 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内               | TEL (0878) 22-3045 |
| 広島サービスセンター                  | 〒731-01 | 広島市安佐南区西原6-14-14                   | TEL (082) 874-3787 |
| 九州サービスセンター                  | 〒812    | 福岡市博多区博多駅前2-11-4                   | TEL (092) 472-2134 |
| [本社]<br>カスタマーサービス部          | 〒435    | 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内              | TEL (053) 465-1158 |

## ヤマハ株式会社国内楽器営業本部

|            |      |                              |                    |
|------------|------|------------------------------|--------------------|
| 弦打楽器営業部    | 〒430 | 浜松市中沢町10番1号                  | TEL (053) 460-2433 |
| 東京支店第2営業部  | 〒108 | 東京都港区高輪2-17-11               | TEL (03) 5488-5476 |
| 関東支店第2営業課  | 〒108 | 東京都港区高輪2-17-11               | TEL (03) 5488-1688 |
| 大阪支店第2営業1課 | 〒542 | 大阪市中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館) | TEL (06) 252-5231  |
| 名古屋支店第2営業課 | 〒460 | 名古屋市中区錦1-18-28               | TEL (052) 201-5199 |
| 九州支店第2営業課  | 〒812 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4             | TEL (092) 472-2130 |
| 北海道支店第2営業課 | 〒064 | 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 (ヤマハセンター)  | TEL (011) 512-6113 |
| 仙台支店第2営業課  | 〒980 | 仙台市青葉区大町2-2-10               | TEL (022) 222-6147 |
| 広島支店第2営業課  | 〒730 | 広島市中区紙屋町1-1-18 (ヤマハビル)       | TEL (082) 244-3749 |

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

# ヤマハ株式会社

弦打楽器営業部 営業課

〒430 静岡県浜松市中沢町10番1号 TEL. 053-460-2433

9508 R1 Printed in Taiwan

## Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>